

令和 8 年 4 月 2 1 日

文教経済常任委員協議会会議概要

委員長 小 倉 尚 裕

副委員長 澁 谷 洋 子

1 開催日時 令和8年4月21日（火曜日）午前9時58分～午前10時40分

2 開催場所 第1委員会室

3 報告事項

- (1) 令和7年度包括外部監査結果への対応について
- (2) 令和8年度「水産の朝市！」の開催について
- (3) アップルヒルの施設被害について
- (4) 青森市立夜間中学の校名について
- (5) 青森市立橋本小学校の教育環境について

【挙手による報告】

- (1) 令和8年1月からの豪雪による農業被害の状況について

○出席委員

| | | | |
|------|------|----|-------|
| 委員長 | 小倉尚裕 | 委員 | 柿崎孝治 |
| 副委員長 | 澁谷洋子 | 委員 | 村川みどり |
| 委員 | 相馬純子 | 委員 | 藤田誠 |
| 委員 | 工藤夕介 | 委員 | 木下靖 |

○欠席委員

なし

○説明のため出席した者の職氏名

| | | | |
|--------------|-------|--------------|------|
| 教育長 | 工藤裕司 | 経済部次長 | 横山明典 |
| 市民部長 | 齋藤賢剛 | 農林水産部次長 | 坂本康人 |
| 経済部長 | 横内信満 | 中央卸売市場長 | 松本和久 |
| 経済部理事 | 工藤拓実 | 教育委員会事務局教育次長 | 後藤孝範 |
| 農林水産部長 | 大久保文人 | 教育委員会事務局教育次長 | 小山信哉 |
| 浪岡振興部長 | 奈良英文 | 経済政策課長 | 千葉皆工 |
| 教育委員会事務局教育部長 | 泉宏明 | 農業政策課長 | 堀川慎一 |
| 教育委員会事務局理事 | 角田毅 | 教育委員会事務局総務課長 | 嘉瀬慎一 |
| 農業委員会事務局長 | 船橋正明 | 関係課長等 | |
| 市民部次長 | 竹内巧 | | |

○事務局出席職員氏名

| | | | |
|---------|-----|---------|------|
| 議事調査課主査 | 花田昌 | 議事調査課主事 | 杉浦晃平 |
|---------|-----|---------|------|

○**小倉尚裕委員長** おはようございます。「おはようございます」と呼ぶ者あり）
ただいまから、文教経済常任委員協議会を開会いたします。

まず、本日の案件に入る前に、今年度最初の常任委員協議会ですので、理事者側から部長級以上の職員紹介をお願いいたします。

初めに、市民部をお願いいたします。

○**齋藤賢剛市民部長** おはようございます。「おはようございます」と呼ぶ者あり）
市民部長の齋藤でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。「よろしく
願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 次に、経済部をお願いします。

○**横内信満経済部長** おはようございます。「おはようございます」と呼ぶ者あり）
経済部長の横内でございます。引き続きになりますが、よろしくどうぞお願いいた
します。「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 経済部理事。

○**工藤拓実経済部理事** 経済部理事の工藤でございます。今年度も引き続きよろし
くお願いいたします。「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 次に、農林水産部をお願いいたします。

○**大久保文人農林水産部長** おはようございます。「おはようございます」と呼ぶ
者あり）農林水産部長の大久保でございます。引き続きよろしくをお願いいたします。
（「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 次に、教育委員会をお願いいたします。

○**工藤裕司教育長** 教育長の工藤です。今年もよろしくをお願いいたします。「よろ
しく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 教育部長をお願いいたします。

○**泉宏明教育委員会事務局教育部長** 教育部長の泉です。よろしくをお願いいたしま
す。「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 教育委員会事務局理事。

○**角田毅教育委員会事務局理事** 理事の角田と申します。よろしく願います。
（「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 次に、農業委員会事務局をお願いいたします。

○**船橋正明農業委員会事務局長** おはようございます。「おはようございます」と
呼ぶ者あり）農業委員会事務局長の船橋でございます。今年もよろしく願いま
す。「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** この際、私から御紹介いたします。本日、所管の報告事項に係
る質疑応答のため、本協議会に出席しております奈良英文浪岡振興部長です。

○**奈良英文浪岡振興部長** 浪岡振興部の奈良です。よろしくをお願いいたします。
（「よろしく願います」と呼ぶ者あり）

○**小倉尚裕委員長** 以上で、理事者の紹介を終わります。

それでは、本日の案件に入ります。

初めに、「令和7年度包括外部監査結果への対応について」報告を求めます。経済部長。

○横内信満経済部長 改めまして、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）令和7年度包括外部監査結果への対応につきまして御報告申し上げます。

令和7年度包括外部監査の結果につきましては、去る3月27日に包括外部監査人から市長、議会、監査委員へ報告書が提出され、4月10日には、議員の皆様へもデータ配信させていただいたところではありますが、改めて、その概要と対応について、お手元の資料に基づき御説明いたします。

資料1ページを御覧ください。

令和7年度は、監査テーマを「交流人口の増加及び関係人口の創出に向けた施策及び事業に係る財務事務の執行について」とし、令和6年4月1日から令和7年3月31日までを対象に監査が実施され、「5 監査の結果」のとおり、No.1の「国内外の観光需要の取り込み」からNo.3の「措置状況の監査」まで、今後措置することが必要であると判断された指摘事項が19件、施策や事業の運営合理化のために改善を要望するという趣旨の意見が38件ありました。

今般の指摘事項及び意見の内容につきましては、資料「令和7年度包括外部監査結果報告書【概要版】」を後ほど御覧ください。また、この結果につきましては、報告書を市ホームページに掲載したほか、本庁舎、駅前庁舎、柳川庁舎等に備え付けております。

資料2ページを御覧ください。

「7 対応スケジュール」についてであります。指摘事項及び意見のありました事務事業等の所管部局において、詳細な内容の確認や検証作業等を行っているところではありますが、今後、是正・改善等必要な措置を講じた上で、それらを取りまとめ、8月の本常任委員協議会で御報告いたしますとともに、市民への公表を予定しております。

なお、他の部局におきましても、今回の指摘事項及び意見の対象となった項目と類似する事案がないか確認の上、検証作業等を行っていくこととしております。

報告は以上です。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 質疑はないものと認めます。

次に、「令和8年度『水産の朝市！』の開催について」報告を求めます。農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 「令和8年度『水産の朝市！』の開催について」御報告いたします。

お手元の資料を御覧ください。

青森市中央卸売市場では、食育の推進、地産地消の普及・促進を図るとともに、市場の活性化を目的といたしまして、市民の皆様を対象とした各種イベントを実施しております。そのうちの一つといたしまして、水産の朝市を毎年開催しております。

今年度は、4月から7月の第1及び第3土曜日、9月から11月の第1土曜日と、12月の第1・第3土曜日に開催することとしております。既に開催しております4月4日、18日分を含めまして、計13回の開催であります。

また、9月から11月の第3土曜日につきましては、水産物だけではなく、青果や花も含めまして一般販売を行います市場開放デーも開催する予定としております。

開催場所につきましては、中央卸売市場内の水産棟仲卸売場におきまして、開催時間につきましては、午前7時から午前9時までとしております。

水産の朝市では、市民の皆様には卸売市場への理解を深めていただくとともに、水産物の需要拡大などを図るため、鮮魚や加工品など一般販売を行うほか、第3土曜日の開催日には、御来場の皆様へ旬の食材を使用しました振る舞いも予定しております。

委員の皆様には、水産の朝市を広くPRいただきますとともに、御多忙とは存じますが、ぜひ市場へ足を運んでいただければと存じます。

報告は以上でございます。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 質疑はないものと認めます。

次に、「アップルヒルの施設被害について」報告を求めます。浪岡振興部長。

○奈良英文浪岡振興部長 おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）道の駅アップルヒルの施設被害について御報告いたします。

お手元の資料「アップルヒルの施設被害について」を御覧ください。

本事案の発見日時は、令和8年3月28日土曜日の12時30分頃、被害場所はアップルヒルわくわく広場の多目的トイレとなります。

被害状況といたしましては、トイレの窓ガラスが割られ、窓枠が取り外され投棄されているのが確認されております。

状況経過になりますが、3月16日頃に指定管理者が巡回した際には異常はなかったものの、3月28日の巡回時に破損を発見しましたことから、市と指定管理者、警察の3者で立会いを行った上で、青森南警察署のほうに被害届を提出したところであります。

今回の事案を受けまして、今後、同様の事案が発生しないよう、指定管理者による巡回を強化するなど適切な施設管理に努めてまいります。

報告は以上でございます。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 質疑はないものと認めます。

次に、「青森市立夜間中学の校名について」報告を求めます。教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 「青森市立夜間中学の校名について」御説明いたします。

本市の公立夜間中学の校名の募集につきましては、本年2月1日から28日までの1か月間募集を行い、105件の応募がありました。

「2 校名決定の観点・考え方」につきましては、「(1) どなたにも分かりやすく、言いやすく、覚えやすい校名であること」、「(2) 夜間中学で学ぶ生徒や地域の方から親しまれ愛される校名であること」、「(3) 青森市公立夜間中学設置基本方針にふさわしい校名であること」、「(4) 商標等他者の著作権等の権利を侵害しないこと」としております。

次のページ、御覧ください。

教育委員会事務局では、「3 校名候補」のとおり、善知鳥、あすなろ、青嶺、星空、灯、希望——のぞみの6つの案を選定しました。

去る3月26日開催の教育委員会定例会において、この6つの案をたたき台として審議いただいた結果、No. 3の「青嶺（せいれい）」とNo. 6の「のぞみ（希望）」を組み合わせた青森市立青嶺のぞみ中学校に決定したものであります。

今後のスケジュールにつきましては、4に記載のとおりとなっておりますが、8月以降の入学希望者説明会等の開催に向けて、県の教育委員会と連携しながら、全県へ広く周知を図ることとしております。

報告は以上でございます。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 質疑はないものと認めます。

次に、「青森市立橋本小学校の教育環境について」報告を求めます。教育委員会事務局理事。

○角田毅教育委員会事務局理事 「青森市立橋本小学校の教育環境について」御報告申し上げます。

資料を御覧ください。

教育委員会では、平成20年4月に策定いたしました通学区域再編による教育環境の充実に関する基本計画に基づき、複式学級を有する小学校と全学年単学級の中学校を最優先の対象校とし、保護者や地域の皆様と十分な話し合いを行い、関係する皆様の御理解をいただきながら通学区域再編を進めてまいりました。

青森市立橋本小学校につきましては、平成26年度から複式学級が発生したこと

に伴い、保護者の皆様と教育環境に係る話し合いを継続的に行ってまいりました。

令和7年度におきましては、児童数の減少に伴い、資料にお示ししたとおり、令和8年度の児童数が6人、学級数が2年生と4年生の複式学級1学級、特別支援学級1学級の計2学級になること、また、県の教職員配置基準により、教職員が校長、教頭、教諭2人の計4人となり養護教諭は配置されないことなど、児童の安全及び学びの保障が難しくなっている状況を踏まえ、話し合いの機会を増やし、希望する保護者との個別面談を実施するなど、保護者の皆様との話し合いを重ねてきたところであります。

この話し合い等の中で、子どもたちの学習活動において様々な制約が生じている現状を解消するため、将来の教育環境がどうあるべきかを話し合い、令和8年3月に保護者の皆様の御意向として教育環境に係る要望書が提出されましたので、このたび、委員の皆様へ御報告申し上げるものであります。

その内容は、青森市立橋本小学校の教育環境に関し、児童数減少に伴う教職員の配置等、令和8年度以降の教育環境の厳しい状況を踏まえ、児童の安心・安全、学校環境等の学びの保障のため、青森市立橋本小学校を令和8年度末をもって閉校することに同意し、転学に当たる支援等を要望するものであります。

要望事項の内容は、1つに、在校生は、転学先を選択し、令和8年4月1日から随時転学できるようにすること、2つに、転学先の選択に際し、交流や見学、授業への参加等ができるよう配慮すること、3つに、同学年の児童が同一校に転学する場合や転学先の友人関係を踏まえ、同じ学級に所属できるようにするなど配慮すること、4つに、学校指定品の購入に当たり、経済的な支援をすること、5つに、転学に伴う不安を解消し、集団への適応を図るため、次年度及び転学後の教職員の体制について可能な限り配慮することとなっております。

教育委員会といたしましては、当該要望書における要望事項を踏まえ、児童一人一人が転学及び中学校進学後に円滑な人間関係の構築や一定規模の集団での生活や学習を通して多様な価値観に触れ、充実感や達成感を味わうことで、自己実現を図ることができるよう、転学に伴う環境変化への支援等に取り組んでまいります。

なお、このたび御報告した内容につきましては、4月6日に開催した浦町中学校区学校運営協議会橋本小学校分科会、4月8日に開催しました浦町中学校区学校運営協議会理事会、4月10日に開催しました橋本小学校区町会長報告会、4月14日に開催しました教育委員会定例会において御報告しました。

浦町中学校区学校運営協議会橋本小学校分科会及び理事会では、閉校は児童も職員も少ないので仕方がない、子どもが次の学校にうまく適応できるようにしてほしい、子どもはある程度の人数のいる学校で磨き合うことも必要である。

また、橋本小学校区町会長報告会では、子どもが少な過ぎて児童一人一人にとって今の教育環境はよくない、閉校になることは仕方がない、次に入学してくる子どもたちのことを考えて進めてほしいなどの御意見をいただいております。

また、教育委員会定例会の委員の皆様からは、子どもの発達の観点からいうと、幼少期に必要な経験が自立や自主性を発揮する、児童が減っており、他者の多様性を確保できているのかを考えると、子どもの発達、心の成長に必要な経験を保障できる状況ではない、閉校は仕方ないと思う、県の教職員配置基準によって養護教諭が配置されていないことは、子どものことを考えると心配である、随時転学できることを考えると、子どもの安全が確保されている学校に転学してほしい、多様な価値観を育むためには児童が少ないと厳しい、また、学校行事も滞るなどの御意見をいただいております。

今後の予定といたしましては、第5回教育委員会定例会において、保護者の皆様からの5点の要望事項に基づく通学区域再編の方針を審議し、その内容を次回の文教経済常任委員協議会にて御報告するとともに、5月29日には橋本小学校区の地域住民報告会の開催を予定しております。

以上でございます。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。相馬委員。

○相馬純子委員 特別支援学級があるということだったんですけれども、例えば、転学先に同じ障害種の支援学級がなかったとしたら、開設するという理解でよろしいですか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局理事。

○角田毅教育委員会事務局理事 その子の話をいたしますと、実際、いろいろな学校を候補として考えているんですが、その障害種の支援学級のある学校を見て歩いていて、実は、日常生活は大きい集団の中で生活したいという希望も持っているという状況でありました。

[相馬純子委員「はい、分かりました」と呼ぶ]

○小倉尚裕委員長 ほかに発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 なければ、質疑はこれにて終了いたします。

そのほか、理事者側から報告事項などありませんか。農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 令和8年1月からの豪雪による農業被害の状況につきまして御報告させていただきたいので、資料を配付させていただいてよろしいでしょうか。

○小倉尚裕委員長 どうぞ。

[議会事務局が資料配付]

○大久保文人農林水産部長 それでは、令和8年1月からの豪雪による農業被害の状況について御報告させていただきます。

リンゴ樹の被害状況につきましては、青森市、県、青森農業協同組合が合同で調査をしております。先週4月16日には、青森県から令和8年1月からの豪雪による

農業関係の被害額が県全体で 201 億 128 万 3000 円に上ったと発表がありました。

このうち、本市における被害状況等について御報告いたします。

資料を御覧いただきたいと思えます。

本市の被害金額は 9 億 8096 万 7000 円となっております。その内訳であります、「(1) りんご枝折れ」につきましては、栽培面積 1696 ヘクタールのうち 481 ヘクタール、全体の約 28%が被害を受けております。枝折れ、幹の裂開など被害程度別の被害面積につきましては、被害程度が 5%から 29%の面積が 322 ヘクタール、30%から 49%の面積が 137 ヘクタール、50%から 69%の面積が 22 ヘクタール、70%以上の面積はなしとなっております。これに伴います減収量は 506 トン、リンゴ樹の損傷と減収による被害金額は 8 億 6401 万 3000 円となっております。

また、「(2) 農業関係施設 (パイプハウス)」の倒壊や損傷による被害につきましては、4 月 10 日に開催いたしました令和 8 年第 1 回青森市議会全員協議会において 4 月 8 日現在の被害棟数を 91 棟として報告していましたが、その後の調査により、被害棟数は 107 棟、被害金額は 7092 万 8000 円となっております。

また、「(3) 畜産関係施設」につきましては、畜舎等 2 棟に被害がありまして、被害金額は 4602 万 6000 円となっております。

また、「2 その他の農林水産部関連被害状況」につきましては、県が発表した被害状況には含まれておりませんが、農林水産部が所管いたします南北後潟館外壁の損傷が 1 件となっております。

市といたしましては、リンゴの枝折れ等の被害が 2 年続けて発生した状況を憂慮しており、今後におきましても、被害を受けた農家の皆様が引き続き農業に取り組んでいただけるよう、県など関係機関と連携しながら、農業被害の対策に全力を尽くしてまいります。

報告は以上でございます。

○小倉尚裕委員長 ただいまの報告について、御質疑・御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小倉尚裕委員長 質疑はないものと認めます。

また、委員の皆さんから御意見等ありませんか。柿崎委員。

○柿崎孝治委員 ホタテガイの件です。半成員の入札が、いつも 4 月の初めからやっているんですが、今年はまだやられていないし、今日の新聞を見ると、入札ができなかったというふうなことが書かれているんですが、状況をお知らせください。

○小倉尚裕委員長 農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 ホタテガイの半成員の出荷につきましては、例年であれば、もう 2 回ほど、既に入札されている時期ではあります。まだ出荷できていないというのが現状で、一部、今日、青森市漁協油川支所で入札を実施したところ、価格が折り合わず不調になっているというのが現状でありまして、漁協さんの見込みとすれば、5 月の中旬から下旬にかけて出荷できるのではないかという現状であ

ります。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 そうすれば、サイズが小さいとか、変形しているとか、いろいろあって、入札したけれども、昨日は不調に終わってしまったというふうなことで、まだ入札は行われていないということによかったですか。

○小倉尚裕委員長 農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 青森市漁協油川支所で不調に終わったほか、入札は実施されておりません。やっぱり、半成員の成長が例年より遅れているというのが主な原因だということでお聞きしております。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 それから、ラーバの出現数の件なんですけど、これも毎年、数が多く、西湾とか東湾ではどうのこうのというふうに出ているんですけども、こちらのほうもあまり話題になっていないですけども、どのような感じでしょうか。

○小倉尚裕委員長 農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 ラーバの出現状況ということではありますが、まず、青森市の海域の海水温の状況でありますけど、青森ブイという例年の観測点での数字と比較させていただきますと、4月11日から4月14日までの平均水温が、昨年比でマイナス0.1度、平年に比べるとプラス0.8度の8.4度となっております。

また、ホタテガイの出荷状況は、今お話ししたとおり、今現在はゼロトンとなっております。

ラーバの出現状況ではありますが、これまで3回調査しております。直近のデータが4月10日から4月15日まで調査した分ではありますが、青森市域が含まれます西湾が、例年、平年値1立米当たり2347個でありますけど、今回の調査では196個となっております。また、東湾につきましては——野辺地から向こうの下北のほうの湾ですけども、平年値1立米当たり6690個でありますけど、今回の調査では230個と、いずれの海域においても、平年に比べかなり数が少ない状況となっております。

このような状況を踏まえまして、少ないラーバを確実に採苗していくため、採苗器の投入時期というのは大変重要になってまいりまして、県を含めまして、今週から来週にかけて採苗器を可能な限り多めに投入するという指導を行っているところであります。

以上です。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 あと、今、陸奥湾内で話題になっている稚貝の移入ということについて、青森市漁協ではその進展はあったんでしょうか。

○小倉尚裕委員長 農林水産部長。

○大久保文人農林水産部長 移入に関しては、北海道からの稚貝を移入しようというような議論が湾全体でなされていて、湾を統括する団体——むつ湾漁業振興会で

は、その域外から稚貝を移入するための手順——ガイドラインを一応整備しております。

そのむつ湾漁業振興会が示したガイドラインに基づいて、各漁協が各漁協なりの手順——ガイドラインを整備していくという段階でありまして、青森市漁業協同組合・後潟漁業協同組合ともに、今現在は、その各漁協のガイドラインをどう整備するかということで協議中というのが青森市域の現状であります。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 分かりました。ありがとうございます。

あと、経済部のほうです。4月19日に行われたあおもり桜マラソン、天気もよくてすごくよかったように感じます。そして、私、野木和公園に行ったんですけども、今までにないほどランナーとか観客も来ていたと思うんですけども、この辺はどうでしょうか。

○小倉尚裕委員長 経済部理事。

○工藤拓実経済部理事 当日、天候にととても恵まれまして、桜もちょうどいい時期で、ランナーの皆さんからの今現在の評価とすれば、年々ボランティアの皆様の歓迎の雰囲気などもよくなっていっているということで、高い評価をいただいております。

参加者も、今回も約5000人、実際に走った方がいらっしゃって、おおむね好評だったと受け止めておりますが、一部、桜の時期もちょうど被ったといいますか、一緒になったので、花見客の人からは、幾分、ちょっとした御意見はありました。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 私も聞いたんですけども、合浦に行ったら出店が全部閉まっていて、何で今頃マラソンやるんだというふうに言われたんですけども、ちょうど重なったというか、ある意味、桜が咲く時期にマラソンをやるというのが目的だったので、話しされた方には、その辺はちょっと理解してくださいという話はしておきました。

それから、今年ってハーフもフルも早くこう締め切っちゃってしまっ、定員、今まですぐ集まらなかったのが、早めに定員になってしまっ、市内の方たちが後で申し込めばいいと思っていたのが、エントリーできなかつた人たちがかなりいたと聞いたんですけども、これはやっぱり人気が出てきたから、締切りが早くなつてしまつたということでしょうか。

○小倉尚裕委員長 経済部理事。

○工藤拓実経済部理事 おっしゃるとおりでありまして、昨年までは——今年5回目を迎えるんですけども、締切りぎりぎりまでで定員を満した状態。それで、締切りぎりぎりになると一気に申込者が駆け込むような状況になって、最終日だけで何百人——三百人、四百人というのが実態としてありまして、今年は人気が出てきたので5500人を定員としているんですけども、昨年の状況を見ると、黙ってい

ると実は7000人を超えるくらいのも——黙っていればですね。ただ、どうしても野木和公園をスタートにすると、受入れのキャパシティだとか、あとシャトルバスの物理的な送客の人数だとか、いろいろな兼ね合いもありましたので、黙って受け付けていくと余す——オーバーになってしまうというのがあって、今年は5500人の定員を恐らく期限前に達成するだろうという見込みの下、そのような形で募集させていただいて、やっぱり人気があって早い段階で定員を満たしてしまったという状況が今年度はありました。

人数も、人気が出てきていることもありますので、今後、公認コースとか、そういうのもいろいろありますけれども、それらも含めて検討はしていかなければならないのかなと考えてはおります。

○小倉尚裕委員長 柿崎委員。

○柿崎孝治委員 私、油川しか見ていないんですけれども、今年、市役所のねぶた実行委員会の方のねぶたの囃子から始まって、油川中学校の給水場でのサポート、それから、青森北高校の吹奏楽部が国道280号バイパスで揃っていて、地域の方も声を出してくれていたのも、後潟から走って、かなり疲れてきた方たちは、すごく喜んでいました。

白バイの後ろをすぐ来た、記録を争っている方は、もう全然無視して行っているんですけれども、やっぱり、声をかけるとすごく喜んでくれたというのもあるし、外国人の方も結構増えていたので、ねぶたとか吹奏楽というのも喜んでいたり、中学生がやっぱり頑張ってくれたので、すごくよかったと思います。

それと、春祭りがあるということで、撤去のほうもすごく早く行って、いつも翌日までかかるのが、当日の昼を過ぎたらトラックとかがいっぱい来て片づけてしまったというのがありました。野木和公園が今日から春祭りなんですけれども、その準備のために片づけてくれたということで、油川の方たち、喜んでいましたので、ありがとうございます。

それと、今年、大雪で、野木和公園は被害をかなり受けたんですけれども、水辺散策園という、いつもフォトコンテストをやっている場所の被害が大きくて、180本ぐらい八重桜があるうちの85本が被害を受けてしまって、その折れた枝とかも——これ、違うほうになるんですけれども、片づけてくれてもらいましたので、土曜日の日から、その枝——剪定した部分を市民の方に配付するというのをやっていきたいと思いますので。移動させるとすごく大変なので、勝手に持って行ってくださいみたいな形になるんですけれども、八重桜の剪定した部分を御自由に持って行ってもらうようにしていきたいと思いますので、いろいろ、野木和公園をスタート地点にさせていただいてとてもありがたいと思いますので、今後ともよろしく願います。

どうもありがとうございます。

○小倉尚裕委員長 ほかに発言はありますか。村川委員。

○村川みどり委員 何点かあるんですけども、まず、カクヒログループスーパーアリーナの駐車場の件で、毎回、市民の方から苦情があって、この間は青森ワッツの試合の時には、ワッツ関係者と、それからジム利用者以外は駐車場を使えませんということで、駐車場の前でUターンさせられたと。その人が、例えばワッツでバスも出していたらしいんですけども、そういう情報も知らずに、案内もせずに、とにかく、Uターンして戻れ戻れというような誘導の仕方をしていて、市民から苦情がとても来たのと、やはりバスも20分に1回しか走っていないくて、だから、歩いたほうが速いじゃんということになるので、前にも言ったけれども、その時間配分などもきちんと、やっぱりちゃんと設定してほしいし、どうやら、ワッツが用意したバスをワッツがやっている時間しか運行していないというようなやり方をやっているみたいで、きちんとカクヒログループスーパーアリーナで準備して——だって、ワッツ以外の人もみんな行くわけだから、駐車場への送迎バスというのをきちんと配置して、誘導する人も送迎バスの紙を渡すとか、そういう市民サービスをきちんとやるべきだというふうに思うんですけども、その辺、どういうふうに認識していたのでしょうか。

○小倉尚裕委員長 経済部理事。

○工藤拓実経済部理事 基本的には前々からお伝えしておりますとおり、事業開催者のほうで対応すべきものではありませんけれども、これまでも村川委員の御指摘、御意見を受けて、一応事業者のほうには、その都度、対応をしてくださいとお伝えはしておりますので、また改めて今回の意見を踏まえてお伝えしていきたいと考えております。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 改善していただきたいと思います。

あとは、学校の関係なんですけれども、昨日の地震による管内の学校の被害というのはなかったのでしょうか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 地震が起きてから、各学校の方に被害があれば報告してくださいということを連絡しまして、今日の朝の段階で報告は来ていませんので、現段階では被害は把握しておりません。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 それから、学校の備品の管理についてなんですけれども、机とか椅子とかって、やっぱり税金で買っているものなので、多分ちゃんと備品管理されていると思うんですけども、例えば使えなくなったから何台廃棄したとか、何台購入したとか、そういう管理というのは備品としてちゃんとされているのでしょうか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 学校で買った備品は登録していますので、出

納といいますか、出し入れはつけていると認識しております。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 それは、教育委員会としてですか。各学校としてですか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 私の認識は、教育委員会事務局総務課に経理チームというのがあって、そこで備品の一括管理をしていて、学校とやり取りしながら、廃棄は会計課とのやり取りがありますので、教育委員会事務局総務課のほうでやっているというふうに私は認識しております。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 新しく学校が始まる時に、机の出し入れとかもあるんですけども、その際に、机が足りないから何台ほしいというような要求をした時に、教育委員会から、自分でいろんな学校に電話して、何台残っているか、何台あるから何台くださいというふうにやりなさいと言われてたというような声がありました。それだとおかしくて、やっぱり備品だから、教育委員会でちゃんと管理して、ここの学校で何台必要だったから、ここの学校からここの学校に回すというようなスキームができていなきやいけないのに、学校任せでやられたという話があったので、そのところは改善してほしいなと思いますけれども、把握しているでしょうか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 基本的には、私どもの認識は、総務課のほうで、今、村川委員がおっしゃったような形でやり取りしていると思っていましたので、そのようなことがないものと思っております。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 そうだと思っていたんですけども、学校でやれと。学校で、各学校に電話してやれというふうに言われたという声がありました。なので、改善をお願いいたします。

もう一個なんですけれども、図書館について。担当者がいないかもしれないんですけども、今年度から本の督促のやり方が変わったのかどうか、分かれば教えてほしいんですけども、その辺は把握しているでしょうか。

○小倉尚裕委員長 教育委員会事務局教育部長。

○泉宏明教育委員会事務局教育部長 今、把握していません。

○小倉尚裕委員長 村川委員。

○村川みどり委員 前だと2週間たてば電話が来て、延長しますかとかというやり取りがあったんですけども、それがなく、1か月過ぎてから、突然督促状が送られてきたというような話があって、やり方が変わったのかどうかというところを聞きたいなと思っていたので、後で分かったら教えてもらえれば助かります。

以上です。

○小倉尚裕委員長 ほかに発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**小倉尚裕委員長** 以上をもって、本日の案件は全て終了いたしました。
これにて本日の協議会を閉会いたします。

(会 議 終 了)